



《をとしみず》(部分)2022年

森のアート展 Vol.18

山口百子

白南風～白露

しらはえ はくろ

森の
アート展

2023年7月15日[土]－9月18日[月・祝]

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日(ただし祝日の場合は開館)

会場：豊田市民芸の森(田舎家・旧海老名三平宅・松近亭・管理棟・屋外)

観覧料：無料

山口百子(やまぐち ももこ) / 1965年 金沢市生まれ。1990年 愛知県立芸術大学大学院(日本画)修了。2011年 SICF 12 スパ
イラルホール「美術って何の役に立ってますか?」(東京)。2015年 フスマ倶楽部初回展覧会(名古屋)。2017年 文化フォーラム
春日井「絵画の息づかい、そして…」(愛知)。刈谷市美術館、富山県美術館等でワークショップを多数企画。

豊田市民芸の森 TOYOTASHI-MINGEI-NO-MORI

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町石平60-1 TEL:0565-46-0001

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/mingeinomori/>



〈電車〉名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約5分
〈お車〉(名古屋方面から)猿投グリーンロード・枝下ICから約10分
(多治見・岡崎方面から)東海環状自動車道・豊田勘八から約10分

関連事業

- アーティストトーク 日時:①7月30日(日) ②8月6日(日) ③9月2日(土) いずれも10時～11時 ●会場:田舎家(青佳居) ●定員:15名
- ワークショップ「シルクに描くって、面白い!」 ●日時:①7月29日(土) ②8月20日(日) いずれも10時～12時 ●内容:シルク(絹本)に専用の水彩絵の具で絵を描きます。●講師:山口百子(作家) ●会場:管理棟 ●対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) ●定員:各回8人 ●受講料:900円 ●要事前申込:①ワークショップ名②住所③氏名④電話番号⑤希望日時を記入の上、HPまたは往復はがきで、日時①希望の場合は7/19(水)、②希望の場合は8/10(木)までにお申込みください。

■豊田市民芸の森「森のアート展」とは

猿投窯の発見など古陶磁器の研究や民芸作品の収集、地元芸術家への支援を行った、豊田市名誉市民 本多静雄氏の旧邸宅のあった「豊田市民芸の森」において、彼の意思を次世代へ引き継ぐため、手仕事の素晴らしさを感じ、新たな発見や交流、創造の場となるよう芸術家等の作品を森の屋内外に展示するものです。



平成29年4月からはじまり、豊田市を中心とする東海三県（愛知・岐阜・三重）で活動する作家・団体による展覧会を開催。令和5年度から一部公募にて開催します。

■豊田市名誉市民 本多静雄氏

本多静雄は、1898年豊田市生まれ。電気通信事業と科学技術の向上に献身するとともに、古陶磁器の研究に取り組み、猿投窯を発見。民藝運動の創始者柳宗悦との出会いをきっかけに民藝運動に参加。名古屋民藝協会会長や日本民藝協会役員を務め、豊田市民芸館の設立に貢献、多くの民芸品を収集し、豊田市民芸館に寄贈する。



貴重な資料や出土品の収集、研究をはじめ、郷土文化の発展に貢献した功績により、1977年に豊田市名誉市民となる。1987年杉本美術館の初代館長に就任。1999年102歳で永眠。

森の
アート展